



自衛隊栃木地方協力本部

JR烏山線が開業から100周年イベントで広報展！ ～JR職員さんと記念コラボ&高校生たちとガールズトーク～



制服試着をして1/2tトラックで
自衛官になりきる女子高生



1/2tトラックの前で
記念撮影をする高校生



試着を手伝う神山空士長



1/2tトラックで記念撮影



ガールズトークで盛り上がる神山空士長と女子高生たち



JR職員と一緒に100周年を祝う

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井一陸尉）は、10月14日（土）に那須烏山市烏山駅前広場で実施されたJR烏山線開業100周年イベントにおいて、広報展を実施した。

このイベントは、JR烏山線開業100周年記念として開催され、地元中学校吹奏楽部の演奏のほか、100周年記念にかけ「100」にまつわるグッズが並ぶマルシェなどが開催された。烏山線は、那須烏山市と高根沢町・宇都宮市を結ぶ交通線であり、地域の生活を支える足として、また、観光の玄関口として、市民に親しまれており、当日は多くの来場者で賑わった。

自衛隊広報ブースでは、1/2tトラック展示のほか制服試着等を行い、来場者は制服を試着したり、装備品に乗りしたりと、自衛隊のリアルな魅力を体感していた。また、JR職員と1/2tトラックの前で、コラボするひと幕もあった。募集説明ブースでは、女性自衛官の神山空士長（第2輸送航空隊（入間））から栃木地本へ臨時勤務）の魅力に惹かれて女子高校生たちが集まり、「なぜ、自衛官になったのですか？」「自衛隊は、体力きついんですか？」などの質問から始まり、ガールズトークになる場面もあり、微笑ましい一コマとなった。

大田原地域事務所は「今後も、地域と連携し、「地域密着型」の広報で募集広報の強化を図っていく」としている。



那須烏山市イメージキャラクター「からすまる」と
一緒に記念撮影（からすまる右側：神山空士長）